

平成26年度の予算と主な事業

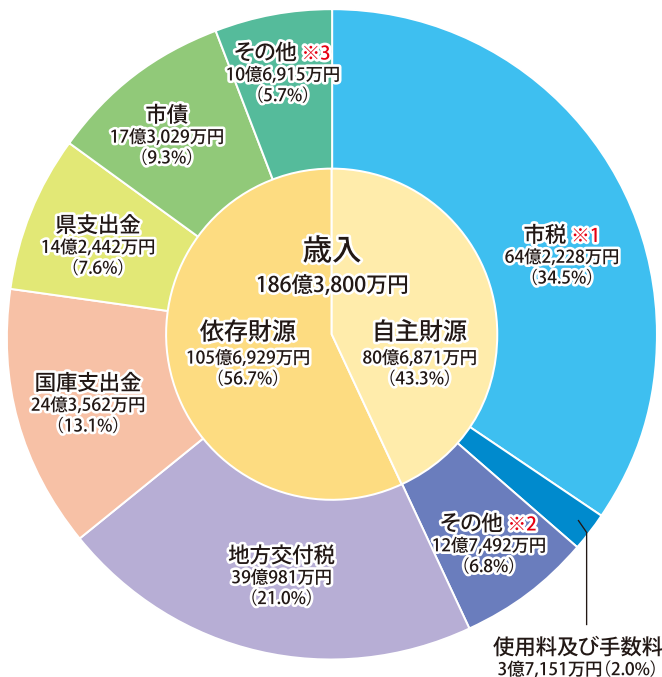
平成26年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会で成立しました。

一般会計予算額は、186億3,800万円で、前年度の予算額166億7,900万円より、11.7%の増と大きな伸びとなっています。ただし、前年度は市長の任期満了の年だったため、新規事業や政策的な経費を抑えた「骨格予算」として編成していました。よって、肉付けを行った6月補正後の前年度予算額177億9,797万4千円と比較すると4.7%の増となります。

また、特別会計予算額は、132億4,486万3千円で、前年度の予算額129億3,179万7千円より、2.4%の増となりました。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(63億4,164万円)から1.3%の増となっており、地方交付税については、前年度(39億1,720万円)から0.2%の減となります。



※1 <市税の内訳>

- ・市民税・・・・・・・・・・31億8,170万円
 (個人・・・・・・・・・・28億3,979万円
 法人・・・・・・・・・・3億4,191万円)
- ・固定資産税・・・・・・・・・・26億2,907万円
- ・軽自動車税・・・・・・・・・・9,904万円
- ・市たばこ税・・・・・・・・・・5億1,247万円

※2 <自主財源：その他の内訳>

- ・分担金及び負担金・・・・3億4,149万円
- ・財産収入・・・・・・・・・・2,482万円
- ・寄附金・・・・・・・・・・70万円
- ・繰入金・・・・・・・・・・3億4,605万円
- ・繰越金・・・・・・・・・・2億4,800万円
- ・諸収入・・・・・・・・・・3億1,386万円

※3 <依存財源：その他の内訳>

- ・地方譲与税・・・・・・・・2億3,600万円
- ・利子割交付金・・・・・・・・3,100万円
- ・配当割交付金・・・・・・・・1,004万円
- ・株式等譲渡所得割交付金・・・・311万円
- ・地方消費税交付金・・・・6億6,500万円
- ・ゴルフ場利用税交付金・・・・2,000万円
- ・自動車取得税交付金・・・・4,500万円
- ・国有提供施設等所在
市町村助成交付金・・・・900万円
- ・地方特例交付金・・・・・・・・3,800万円
- ・交通安全対策特別交付金・・・・1,200万円

- ◆**市税** 皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)
- ◆**使用料及び手数料** あすてらすや運動公園などの使用料および住民票などの手数料
- ◆**地方交付税** 国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ◆**市債** 事業を行うために市が借り入れるお金
- ◆**自主財源** 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金
- ◆**依存財源** 国・県などの意思により交付されるお金
- ◆**特別会計** 特定の収入を特定の支出にあて、一般会計と経理を別にして運営する会計

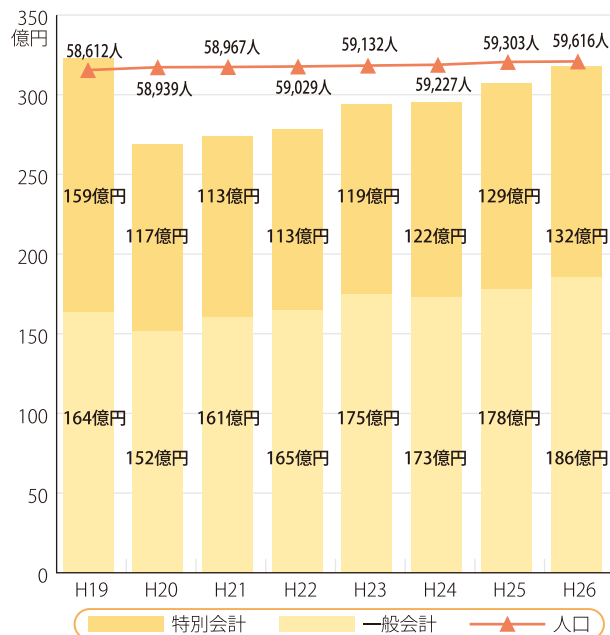
当初予算規模

※()内は前年度比増減率、ただし一般会計のみ前年度6月補正後予算額を使用

◇一般会計	186億3,800万円(4.7%増)
◇特別会計	132億4,486万3千円(2.4%増)
(内 訳)	
・国民健康保険事業特別会計	61億6,835万1千円(0.0%減)
・後期高齢者医療特別会計	8億2,040万円(1.7%増)
・介護保険事業特別会計	
保険事業勘定	35億2,546万6千円(3.9%増)
介護サービス事業勘定	3,025万6千円(13.1%増)
・下水道事業特別会計	24億1,334万2千円(8.7%増)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	919万8千円(2.5%減)
・工業団地整備事業特別会計	2億7,785万円(8.7%減)
◆予算総額	318億8,286万3千円(3.8%増)

人口と予算の推移

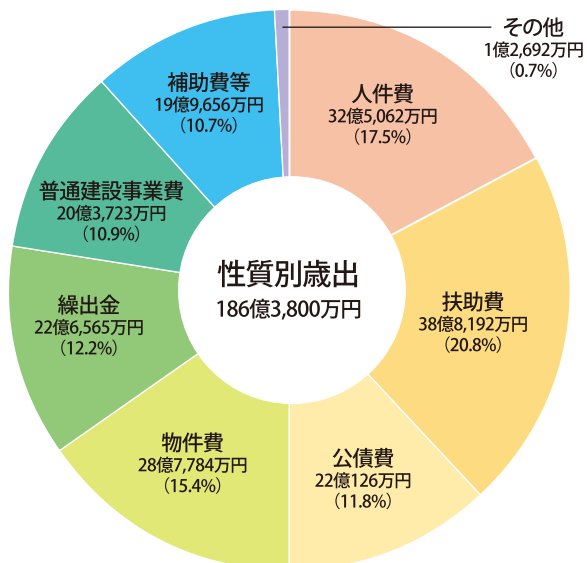
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(内付け後)予算を使用(人口・各年度4月1日現在、ただし平成26年度のみ2月28日現在)



一般会計・歳出

●性質別歳出

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計)が、50.1%と全体の半分を占めています。

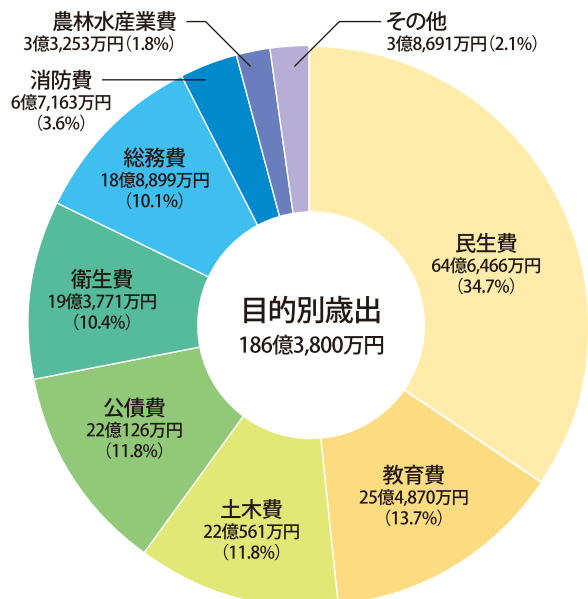


～性質別歳出～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員および各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費などに使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費などに使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築などに使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金

●目的別歳出

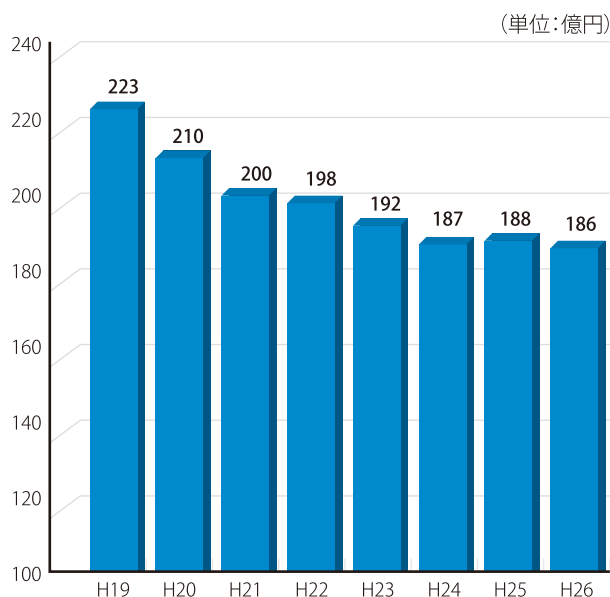
社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が3割以上を占めています。



～目的別歳出～

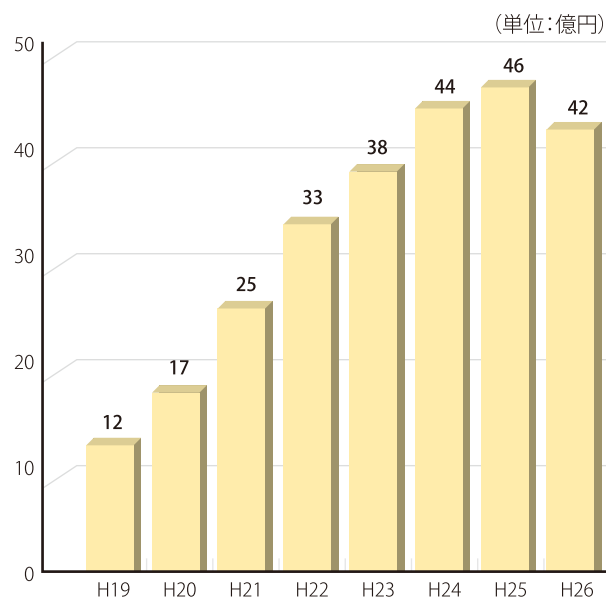
- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用や公民館、図書館など教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理・改良などに使うお金
- ◆公債費 借入れたお金を返済するためのお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ごみ処理などに使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金

市債残高の推移（一般会計）



現在は毎年の発行額を抑えて残高を減らし、財政の健全化を図っています。26年度末の残高は186億円となる見込みです。

基金残高の推移（一般会計）



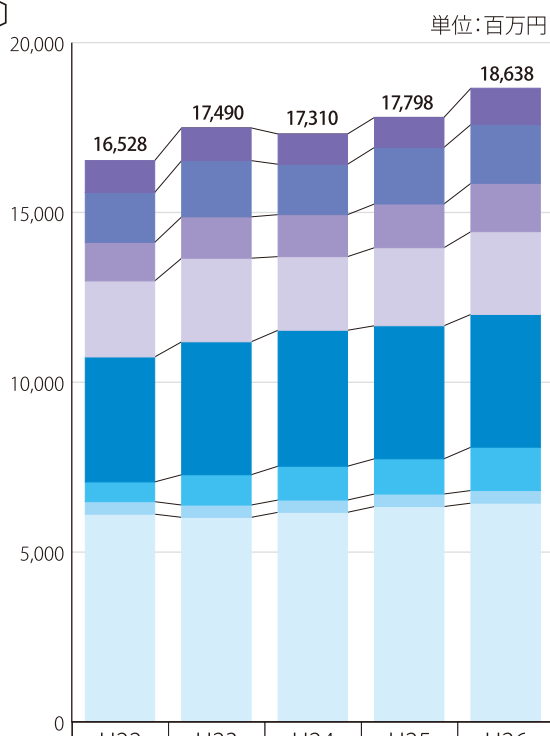
基金とは、市の貯金にあたるものです。平成20年度から24年度にかけて積み立てを行いました。26年度は約4億円を取り崩すため、26年度末の残高は42億円となる見込みです。

一般会計予算の推移（内訳）

歳入では市税と国庫・県支出金が増えています。歳出では普通建設事業費が前年度肉付け補正後予算と比較して56.4%の増と大幅に伸びています。

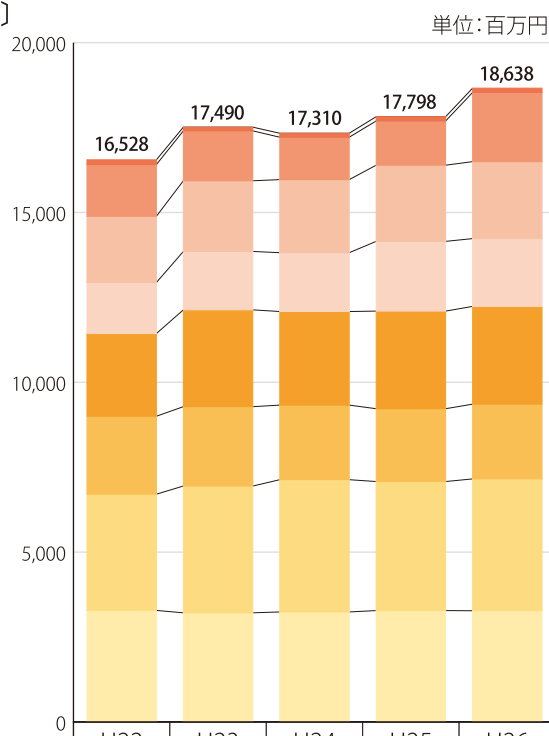
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は6月補正後（肉付け後）予算を使用

〔歳入〕



	H22	H23	H24	H25	H26
■ その他(依存財源)	938	963	891	882	1,069
■ 市債	1,470	1,656	1,483	1,666	1,730
■ 県支出金	1,135	1,217	1,236	1,287	1,424
■ 国庫支出金	2,239	2,462	2,168	2,298	2,436
■ 地方交付税	3,679	3,914	4,002	3,917	3,910
■ その他(自主財源)	582	892	996	1,037	1,275
■ 使用料及び手数料	368	362	362	369	372
■ 市税	6,117	6,024	6,172	6,342	6,422

〔歳出〕



	H22	H23	H24	H25	H26
■ その他	140	110	117	126	127
■ 普通建設事業費	1,522	1,469	1,248	1,302	2,037
■ 繰出金	1,951	2,081	2,152	2,243	2,266
■ 補助費等	1,502	1,719	1,732	2,053	1,996
■ 物件費	2,434	2,851	2,755	2,874	2,878
■ 公債費	2,296	2,336	2,196	2,144	2,201
■ 扶助費	3,422	3,733	3,894	3,799	3,882
■ 人件費	3,261	3,191	3,216	3,257	3,251

主な事業について

都市機能・都市基盤づくり

道路・交通網

- 下町・西福童16号線

消防・防災

- 住宅耐震改修促進事業
- 防災行政無線整備事業
- 消防施設整備事業
(第5分団格納庫建替え)
- 庁舎耐震補強事業



▲防災行政無線整備事業(イメージ写真)

健康と福祉づくり

子育て支援

- 私立保育園等施設整備事業
- 子ども医療費の助成事業

保健

- 若年者健診・保健指導事業
- 特定健康診査等事業の拡充



▲若年者健診・保健指導事業

活力ある産業づくり

農業

- 農業基本計画策定事業

商業・観光

- 地域商品券発行事業の拡充
- 公共サイン整備事業
- 工業団地整備事業



▲公共サイン整備事業(イメージ図)

教育と地域文化づくり

学校教育

- 小学校空調設置事業

スポーツ振興

- 陸上競技場2種公認改修事業



▲陸上競技場2種公認改修事業

居住環境づくり

環境

- 太陽光発電システム設置事業

下水道

- 公共下水道整備事業
(松崎・上岩田・八坂・下西地区)

地域自治体制づくり

行財政運営

- コンビニ収納の実施
(軽自動車税・下水道使用料)
- 第5次小郡市総合振興計画
後期基本計画策定事業